

「新入社員意識調査 2017」及び「採用担当者意識調査 2017」 調査結果＜概要版＞

三重銀経営者クラブでは、入社前後の「新入社員」が持つ仕事や職場に対する意識と、上司・先輩である「採用担当者」が持つ「新入社員」に対する意識の実態を把握するため、「新入社員」と「採用担当者」それぞれに対して調査を行っています。

3月29日から4月11日に実施した「新入社員研修会」に参加いただいた「新入社員」及び、社員を派遣した企業の「採用担当者」へのアンケート結果を取りまとめました。

- (1) 「新入社員意識調査 2017」結果概要
- (2) 「採用担当者意識調査 2017」結果概要
- (3) 「新入社員意識調査 2017」及び「採用担当者意識調査 2017」の特徴

【新入社員意識調査 2017 調査概要】

対象 : 三重銀経営者クラブ主催「新入社員研修会」参加者 264 名

方法 : 研修会会場で調査票を配布・回収

時期 : 2017 年 3 月 29 日～4 月 11 日

回収数 : 260 通 (回収率 98.5%)

【採用担当者意識調査 2017 調査概要】

対象 : 三重銀経営者クラブ主催「新入社員研修会」へ社員を派遣した企業 82 社

方法 : 企業への郵送による調査

時期 : 2017 年 3 月 29 日～4 月 14 日

回収数 : 52 通 (回収率 63.4%)

<問い合わせ先>

株式会社三重銀総研

三重銀経営者クラブ事務局 (059-351-6460)

担当 林 宏樹、長井 翔吾

「新入社員意識調査2017」結果概要

【調査のポイント】

1. 就職先を選ぶ基準 (P2)

第1位が「業務内容」(39.8%、前年度比-1.1ポイント)であり、第2位の「安定性」(17.9%、前年度比-2.9ポイント)の2倍以上の回答数を集めた。

2. 自分に自信のあるもの(複数回答可、P2)

「協調性」(45.5%、前年度比-4.0ポイント)、「誠実性」(43.6%、前年度比-4.8ポイント)がともに4割以上と多くなった。

3. 自分に欠けているもの(複数回答可、P3)

「専門知識」(39.1%、前年度比+2.6ポイント)、「積極性」(38.7%、前年度比+2.2ポイント)、「語学力」(36.3%、前年度比-2.7ポイント)の順に多くみられた。

4. 勤務先に望むこと(P3)

「コミュニケーションがよい職場」(44.0%、前年度比-1.3ポイント)、「やりがいのある仕事」(36.4%、前年度比+6.5ポイント)の2項目で合計約8割と多くを占めた。

5. 仕事・職場生活に関する不安(P3)

「上司、先輩、同僚等との人間関係」(33.9%、前年度比-3.2ポイント)、「仕事への適性」(21.9%、前年度比-4.6ポイント)の2項目で合計5割以上を占めた。

6. 今の勤務先でいつまで働きたいか(P4)

男性では「定年まで働きたい」(55.4%、前年度比+6.0ポイント)が増加した一方、女性では「結婚・出産まで働きたい」(36.5%、前年度比+11.7ポイント)が大きく増加した。

7. 将来めざす役職(P5)

「役職には興味がない」(57.6%、前年度比+1.4ポイント)が増加し、約6割となった。

8. 会社での人間関係構築のために、有効だと思うこと(複数回答可、P6)

「昼食を共にする」(55.6%、前年度比-3.0ポイント)が5割以上となったほか、「業務終了後に行う飲み会、食事会など」(46.8%、前年度比-7.0ポイント)も多くみられた。

9. 自分(新入社員)が目指す理想の将来像(P6)

「業務をサポートする縁の下の力持ち型」(31.2%、前年度比-5.8ポイント)、「困難な仕事にも立ち向かうチャレンジャー型」(20.2%、前年度比+1.5ポイント)が多くみられた。

10. 理想の上司のイメージ(P7)

「指導力がある」(33.5%、前年度比+17.5ポイント)、「実力がある」(29.5%、前年度比+16.8ポイント)が大きく増加し、ともに約3割みられた。

11. 初任給を何に使いましたか?(P7)

「両親やお世話になった方との食事会等の実施」(35.3%)、「両親やお世話になった方への記念品のプレゼント」(31.0%)のほか、「預貯金」(20.2%)が多くみられた。

「採用担当者意識調査2017」結果概要

【調査のポイント】

1. 新卒採用を行う際重視したこと(複数回答可、P9)

「コミュニケーション能力」(72.0%、前年度比+6.6ポイント)、「協調性」(66.0%、前年度比+14.1ポイント)がともに約7割と多くみられたほか、「積極性」(40.0%、前年度比-13.8ポイント)も4割みられた。

2. 最近の新入社員に対する印象【良い点】(P9)

「言われたことをきちんとこなす」(66.7%、前年度比+14.8ポイント)が大きく増加し、約7割となった。

3. 最近の新入社員に対する印象【悪い点】(P10)

「チャレンジ精神が無い」(38.0%、前年度比+0.3ポイント)、「自分で問題を解決しようとする意欲がない」(32.0%、前年度比+11.2ポイント)の2項目で合計7割と多くを占めた。

4. 新入社員に望むこと(複数回答可、P10)

「報・連・相をきちんと行うこと」(82.7%、前年度比+5.3ポイント)が8割以上、「あいさつなどをきちんと言うこと」(57.7%、前年度比-10.2ポイント)が約6割の回答を集めた。

5. 過去に入社した新入社員との間で発生した課題(P11)

「与えられた仕事を行うだけで、自ら工夫を盛り込む姿勢が足りない」(31.4%、前年度比-0.7ポイント)が最も多くみられた。

6. 上記課題を解決するための取り組み(P11)

「上司、先輩などマンツーマン指導者をつける」(40.4%、前年度比+2.7ポイント)、「研修会への参加など、必要なスキルや知識などを身につける機会を設ける」(26.9%、前年度比+2.4ポイント)の2項目で6割以上を占めた。

7. 会社での人間関係構築のために、有効だと思うこと(複数回答可、P12)

「新入社員との個人面談」(51.0%、前年度比-20.7ポイント)は減少したものの5割以上みられたほか、「社内勉強会」(43.1%、前年度比+2.2ポイント)が約4割みられた。

8. 最近の新入社員は、どのタイプに分類されますか(P13)

「他人の干渉を好まない一匹狼型」(30.6%、前年度比-2.1ポイント)、「業務をサポートする縁の下の力持ち型」(30.6%、前年度比+10.2ポイント)がともに約3割みられた。

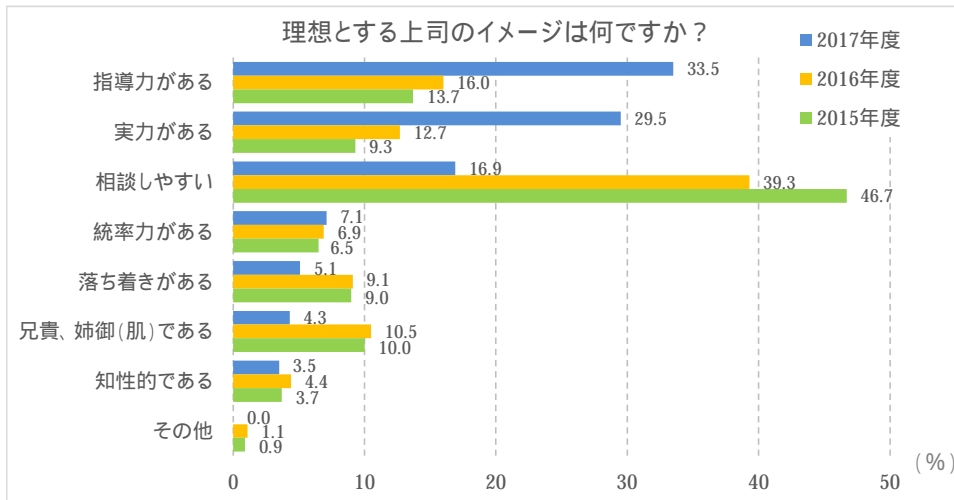
9. 初任給を何に使いましたか？(P14)

「両親やお世話になった方との食事会等の実施」(36.0%)、「両親やお世話になった方への記念品のプレゼント」(32.0%)のほか、「自分へのご褒美や記念品の購入」(14.0%)が多かった。一方、「預貯金」との回答は無かった。

「新入社員意識調査2017」及び「採用担当者意識調査2017」の特徴

新入社員と採用担当者に対する調査結果にみられた、特徴的な動きをまとめました。

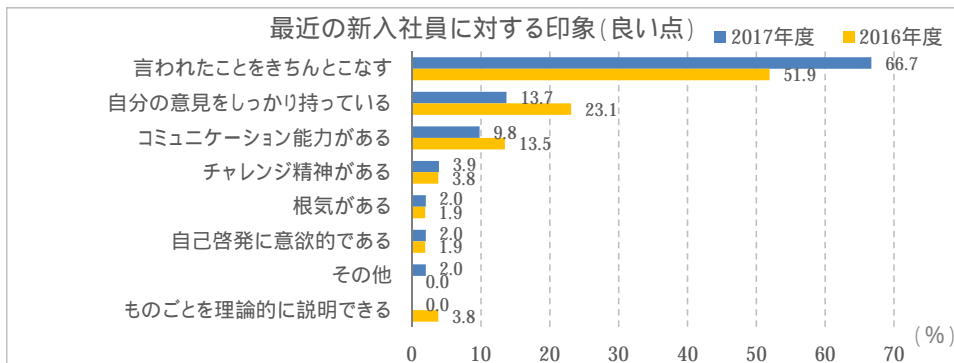
1. 上司に指導力・実力を求める意識が高まる



新入社員が理想とする上司のイメージについて、「指導力がある」、「実力がある」とする回答がともに約3割となり、前回から大きく増加しました。一方、「相談しやすい」とする回答は大きく減少しています。

部下と相談しながら仕事を進めるよりも、自らが仕事を行う姿勢をみせることで、職場を牽引していく上司像を理想としていることが伺えます。

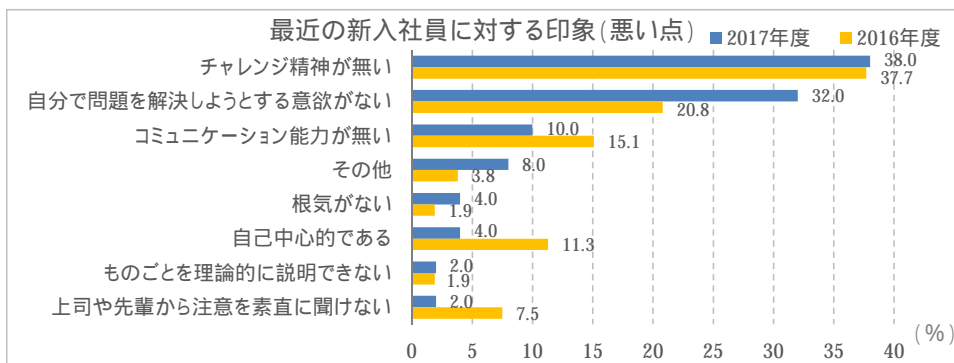
2. 新入社員には、自ら仕事に挑戦する姿勢が求められている



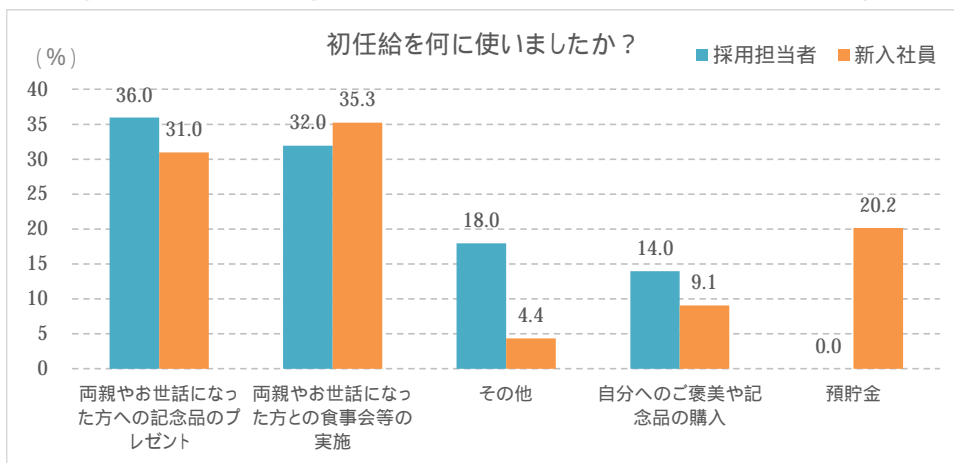
採用担当者からみた新入社員に対する良い印象として、「言われたことをきちんとこなす」とした回答が約7割に上っています。上司から受けた指示を受け止め、応えてくれる点を新入社員の長所として評価しています。

一方、悪い印象として、「チャレンジ精神がない」、「自分で問題を解決しようとする意欲がない」とした回答がともに3割超となっています。採用担当者は、新入社員の前向きに仕事に取り組む意思が足りないと感じているようです。

今年度の新入社員の方には、与えられた仕事をこなすだけでなく、自ら進んで新しい仕事に挑戦する姿勢が求められています。



3. 初任給を使って両親・お世話になった方へ感謝する気持ちが強い



新入社員および採用担当者の初任給の使い途について、両親やお世話になった方への『記念品のプレゼント』または『食事会等の実施』とする回答がともに約3割となりました。両親やお世話になった方に感謝する気持ちは、今も昔も変わらず強いと言えます。

一方で、採用担当者には回答されなかった「預貯金」は、新入社員の約2割が回答しており、堅実さが伺える結果となりました。

より詳しい調査結果は、別添の詳細版をご覧ください。